

No.62

2018

10/29



はちおうじ

JR東労組
八王子地本
八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索



いよいよここまで来た!?

亡骸搬出作業をお客さまがお手伝い!!

そもそも「線路には降らない」が基本ではないか?

10月18日18:49頃、武蔵五日市～武蔵増戸駅間で鹿との衝突事故が発生、床下に鹿が挟まっていたため、関係社員に出場要請を行なっていました。しかし『現場に到着するのが30分以上かかる』『乗務員だけでは搬出は困難』との理由から指令より『お客さまに鹿の搬出協力を要請』するよう指示、結果5名の旅客が搬出協力をするという事象が発生しました。しかも電車はパンタグラフが降下されておらず、感電の危険もありました。また、環境省も「動物由来感染症を防ぐために野生動物と接する際は長袖・長ズボン・手袋着用、血液等に触れない」などの注意を呼びかけています。そしてそもそも「お客さまを線路に降ろさない」ことは大前提のはずです。

今回の事象が発生した原因は“運行優先体質”と“必要な場所への要員配置を怠った会社の経営判断の誤り”に他なりません。



今回の取扱いは会社の責任放棄だ!!
責任もって対応できる体制を創り出そう!
鉄道の安全輸送を守るのは乗務員の使命です!